



**NHK**  
for  
School

# 校内放送研究

第71回**NHK**杯

全国高校放送コンテスト  
ならびに校内放送活動研究集会

要 項

全国放送教育研究会連盟

No. **191**  
2024.3

**NHK**

第71回 **NHK** 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項

目 次

開催要項	・・・	1
参加規定	・・・	2
都道府県担当者運営要領	・・・	3
日程一覧	・・・	4
71 コンテスト変更・追加・注意点	・・・	5
規定および審査について		
アナウンス部門	・校内放送活動研究集会（研究講座）I	・・・ 6
朗 読 部 門	・校内放送活動研究集会（研究講座）II	・・・ 7
ラジオドキュメント部門	・校内放送活動研究集会（研究講座）III	・・・ 8～9
テレビドキュメント部門	・校内放送活動研究集会（研究講座）IV	・・・ 10～11
創作ラジオドラマ部門	・校内放送活動研究集会（研究講座）V	・・・ 12～13
創作テレビドラマ部門	・校内放送活動研究集会（研究講座）VI	・・・ 14～15
校内放送研究発表会	校内放送活動研究集会 VII	・・・ 16
番組制作について	・・・	17
様式1	アナウンス・朗読部門原稿用紙（見本）	・・・ 18
様式3	テストパターン（見本）	・・・ 18
様式2-1	番組進行表 表紙（見本）	・・・ 19
様式2-2	CUEシート（見本）	・・・ 19
様式2-3	権利処理一覧表（見本）	・・・ 20
様式2-4	音源使用許諾申請書及び回答書（見本）	・・・ 20
様式2-5	取材許諾・著作物等ご提供のお願い及び許諾書（見本）	・・・ 21
「ご協力のお願ひ」（見本）	・・・	21
様式2-1（研究発表用）	番組進行表 表紙（見本）	・・・ 22
様式2-2（研究発表用）	CUEシート（見本）	・・・ 22
番組進行表	提出前のチェック項目	・・・ 23
会場マップ	・・・	24

**NHK** 杯全国高校放送コンテスト Webサイトのご案内

[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)  
 （放送教育ネットワーク Webサイト内）



全国高校放送コンテスト委員会では、各部門で使用する指定の様式、著作権処理の説明、今までのコンテストの記録やお知らせなどを上記 Web サイトで公開しています。



[www.nhk.or.jp/event/n-con/](http://www.nhk.or.jp/event/n-con/)

放送コンテストのNHK公式Webサイト「NコンWEB」では、放送部の活動のためになる情報や、楽しんでいただけるコンテンツを充実し、随時発信していきます。



いま、学校のためにNHKができること  
 NHK for School Webサイト

（ [www.nhk.or.jp/school/](http://www.nhk.or.jp/school/) ）



国語や算数、理科、社会など  
 学びに役立つ教育番組や動画クリップが  
 およそ 10,000 本ある動画教材配信サービスです。



高校生の「学び」をサポートする  
 「NHK 高校講座」

（ [www.nhk.or.jp/kokokoza/](http://www.nhk.or.jp/kokokoza/) ）



放送日程や各回の内容、  
 学習に役立つ資料・映像、音声などを  
 ストリーミング配信しています。

### 1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。

### 2. ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。
- (3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。
- (4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。
- (5) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。

### 3. 研究主題（統一テーマ）

「私たち高校生と放送」

高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。

### 4. 主催

全国放送教育研究会連盟・**NHK**  
(NHK 杯全国高校放送コンテスト委員会)

### 5. 共催

公益社団法人 全国高等学校文化連盟  
一般財団法人 NHK 財団

### 6. 後援

文部科学省  
全国高等学校長協会  
日本私立中学高等学校連合会  
一般社団法人 日本放送作家協会

### 7. コンテストの各部門

- (1) アナウンス
- (2) 朗読
- (3) ラジオドキュメント
- (4) テレビドキュメント
- (5) 創作ラジオドラマ
- (6) 創作テレビドラマ

### 8. 審査員

NHK 専門職審査員と全国放送教育研究会連盟が推薦する者が審査にあたる。

### 9. 表彰

部門	アナウンス	朗読	ドキュメント		創作ドラマ	
			ラジオ	テレビ	ラジオ	テレビ
優勝	1	1	1	1	1	1
	NHK 杯 NHK 会長賞状 文部科学大臣賞状				日本放送作家協会 賞品	
準優勝	1	1	1	1	1	1
	NHK 会長賞状・トロフィー					
優秀	2	2	2	2	1	1
	全放連理事長賞状・楯					
優良	6	6	6	6	2	2
	全国高校長協会・私立中高連合会賞状・楯					
入選	50	50	10	10	5	5
	全国高校放送コンテスト委員長賞状					
	メダル		楯			
制作 奨励			20	20	10	10
			全国高校放送コンテスト委員長賞状			

### 10. 校内放送活動研究集会

各部門の発表に加え、各部門の準決勝終了後に、審査員による研究講座（I～VI）を行う。

また校内放送活動から学んだことや、校内放送のアイデアなどを発表する機会（VII）を設ける。研究集会VIIで発表した学校には、研究奨励を授与する。

### 11. 日程

- 7月22日（月）総合受付
- 7月23日（火）全部門 準々決勝
- 7月24日（水）全部門 準決勝・研究講座  
校内放送研究発表会
- 7月25日（木）全部門 決勝

### 12. 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター  
東京都渋谷区代々木神園町3-1  
Tel 03-3469-2525  
(7月22日～24日)

**NHKホール** 東京都渋谷区神南2-2-1  
Tel 03-3465-1751  
(7月25日・決勝)

### 13. 連絡先

問い合わせは、都道府県担当者を通じて、P3の7.に掲載されている問い合わせ先にしてください。コンテストに関わる連絡は、**直接会場にしないでください。**

## 1. コンテストに応募できるのは下記の学校とする。

- ・高等学校及び中等教育学校の後期課程
- ・特別支援学校の各高等部
- ・高等専門学校（第3年次までの生徒）
- ・専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）

## 2. 参加資格

- (1) 2024年7月現在、上記の学校・専修学校・各種学校に在籍中の生徒及びその作品であること。
- (2) 各部門への参加は、都道府県高等学校放送教育研究会（視聴覚教育研究会を含む）あるいは高等学校文化連盟の推薦による。
- (3) 番組制作の各部門は、高校生の創作に限る。また、他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変・改編した作品の参加は認めない。
- (4) 参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わることを条件とする。

## 3. エントリー数〔都道府県推薦数〕

アナウンス部門	6名
朗読部門	6名
ラジオドキュメント部門	4作品
テレビドキュメント部門	4作品
創作ラジオドラマ部門	2作品
創作テレビドラマ部門	2作品
校内放送研究発表会	2校

※アナウンス・朗読部門は1名1部門とし、番組は1部門に1校1作品とする。

※前回の都道府県大会の参加校数が100校を超える都道府県は2倍まで可とする。

※都道府県推薦数は上記の限度内において有効に利用されたい。フルエントリーが望ましいが、特定の学校に推薦が偏らないように配慮すること。

## 4. 参加費

アナウンス部門 朗読部門	1名につき 5,000円
ラジオドキュメント部門 テレビドキュメント部門 創作ラジオドラマ部門 創作テレビドラマ部門	1作品につき 8,000円
校内放送研究発表会	1校につき 4,000円

- ## 5. 当コンテストに参加する作品は放送されることを前提として制作すること。また、著作権などを含む許諾関係については所定の様式を用いて必要な権利を確保しておくこと。

## 6. 応募された参加作品（以下「応募作品」という。）の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。

- ・当コンテストに応募した段階で、主催者が行う放送（Web等での映像配信サービスを含む）、イベントでの上映、Webサイト・印刷物への掲載等について、応募作品の利用（業務上の必要により編集、切除その他の改変を行うことも可）を許諾したものとする。
- ・当コンテストの応募作品は、コンテスト決勝終了（7月25日）まで、他で公開することができない。
- ・応募作品を他に利用する際は、利用に関わる一切の責任は制作者が負うことになり、主催者は責任を負わない。

※応募にあたって

学校は、生徒に対して次のことを周知する。

- (1) 学校単位での応募であること。
- (2) 主催者による応募作品の利用範囲が上記のものであること。

また、アナウンス・朗読部門に参加する生徒に対しては、コンテスト実施中に録音・録画がなされ、それらも上記範囲で利用されることを周知する。

※応募作品内で使用されている音源について

主催者は、応募作品内で使用されている「第三者がレコード製作者の権利を有する音源」を抜き出して他の用途に使用しない。

## 7. NHK 杯全国高校放送コンテストにおける個人情報の取り扱いについて

### I. 利用目的

コンテストで収集した個人情報については下記の目的に使用する。

- ①参加校との連絡などコンテストの実施・運営
- ②主催者が行う放送（国内・海外）
- ③主催者が行うWeb等での映像配信サービス
- ④主催者が行うイベントでの上映・Webサイト・印刷物への掲載
- ⑤決勝大会入賞者氏名・入賞校名については主催者が管理するWebサイト上に無期限で掲載

### II. 共同利用について

コンテストで収集した個人情報については主催者である全国放送教育研究会連盟とNHKで共同利用する。

- (1) 共同して利用される個人データの項目
  - ・生徒の氏名、学校名、学年、写真
  - ・顧問の氏名、学校名、電話番号、FAX番号、メールアドレス
  - ・各都道府県地区研究会の代表者及び研究会が委嘱する担当者・審査員の氏名、学校名、電話番号、FAX番号、メールアドレス
- (2) 共同して利用する者の範囲  
全国放送教育研究会連盟、NHK
- (3) 管理責任者  
全国放送教育研究会連盟、NHK

## 8. 原稿・作品・番組進行表の提出締切

原稿・作品・番組進行表の提出締切については、都道府県担当者の指示に従うこと。

## 1. 都道府県担当者の任務

- (1) 2024 年 3 月に発行される要項(この冊子)の内容について、参加校に周知する。
- (2) 全国大会運営に関わって、必要に応じて運営委員、会場係、審査員を選出・派遣する。  
※該当する年には審査部員も選出・派遣する。
- (3) 全国大会への推薦に際しては、参加規定に合致しているかを確認する。
- (4) エントリー提出締切を遵守する。
- (5) 参加費を期日までに振り込む。
- (6) その他、コンテスト運営委員会からの連絡を都道府県内に周知する。
- (7) 参加校からのコンテストに関する問い合わせを都道府県を代表して行う。

## 2. 推薦に際して

都道府県担当者はアナウンス・朗読の原稿、各番組の番組進行表などが**参加規定・各部門規定に合致しているか、内容を確認の上、推薦すること。様式 1 の表紙・様式 2 - 1 の表紙に内容を確認したチェックを入れること。**  
※様式は、所定の用紙をコンテストの Web サイトからダウンロードして使用すること。

## 3. エントリー提出締切

都道府県からの各部門の推薦および校内放送研究発表会の要旨の提出は、**2024 年 6 月 28 日 (金) 必着**とする。

## 4. 参加費について

参加費については、都道府県担当者が取りまとめ**2024 年 6 月 28 日 (金)**までに指定口座に振り込むこと。

## 5. 原稿・作品・番組進行表の提出

都道府県担当者は、以下のものを**2024 年 7 月 3 日 (水)**までに提出する  
(提出方法については 5 月下旬に連絡する)。

- ・番組部門の作品データ
- ・番組進行表のデータ
- ・校内放送研究発表会の発表データ(発表で使用する PowerPoint データ)、および番組進行表のデータ、PowerPoint の PDF データ

また、以下のものを**2024 年 7 月 5 日 (金) 正午**までに事務局へ郵送する。

- ・アナウンス・朗読部門の原稿 (2 部)
- ・番組部門の番組進行表 (1 部)
- ・校内放送研究発表会の番組進行表 (1 部)

学校あるいは個人の直接の申し込み、及び作品の直送は受け付けない。**提出後のタイトル・原稿などの変更は認めない。**

## 6. 提出物のチェック作業について

P17 からの「番組制作について」に基づき、提出前に各都道府県において実施する。  
公開での発表を妨げることをしないよう、充分注意して行う。

## 7. 問い合わせ先

**都道府県担当者を通じて問い合わせること。**

〒158-0097

東京都世田谷区用賀 4-10-1

世田谷ビジネススクエアタワー16F

一般財団法人 NHK 財団 展開・広報事業部内

NHK 杯全国高校放送コンテスト事務局

TEL : 03-5797-6707

E-Mail : ncon@nhk-fdn.or.jp

## 8. 審査部員について

ブロック選出審査部員体制を継続する。  
第 71 回の審査部員担当は  
**青森、新潟、富山、大阪、徳島、鹿児島**とする。

審査部員のブロックは以下の通り。各ブロック先頭から輪番で選出するものとする。ただし、コンテストの運営部に所属する人員を擁している道府県を除く。また、総合文化祭開催都道府県に配慮する。

〔北海道・東北 ブロック〕  
北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島

〔関東・甲信越 ブロック〕  
茨城、群馬、栃木、山梨、新潟、長野

〔東海・北陸 ブロック〕  
静岡、愛知、三重、岐阜、富山、石川、福井

〔近畿 ブロック〕  
滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫

〔中国・四国 ブロック〕  
岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知

〔九州・沖縄 ブロック〕  
福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

第71回 **NHK** 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 日程一覧

	7月22日(月) 総合受付	7月23日(火) 準々決勝		7月24日(水) 準決勝		7月25日(木) 決勝
	総合受付 14:00~17:00 センター棟 102号室	総合案内 9:30~18:00 センター棟 109号室		総合案内 9:30~17:00 センター棟 109号室		総合案内 9:00~17:00 <b>NHKホール</b> 入口
アナウンス・朗読		ABC会場 センター棟 A会場 101号室 B会場 102号室 C会場 501号室  開会行事 (アナ・朗合同) 9:00~9:20  審査(朗読) 9:20~11:35 審査(アナ) 11:40~13:30	DEF会場 センター棟 D会場 101号室 E会場 102号室 F会場 501号室  開会行事 (アナ・朗合同) 13:40~14:00  審査(朗読) 14:00~16:15 審査(アナ) 16:20~18:10	アナウンス部門 出場受付 9:00~9:10 開会行事 9:10~9:30 審査 9:30~12:05 センター棟 417号室  朗読部門 出場受付 12:50~13:00 開会行事 13:00~13:20 審査 13:20~16:40 センター棟 417号室  モニター室 309・416号室	研究講座 I・II 17:00~17:50 センター棟 417号室	
発声練習	13:00~17:00 カルチャー棟 リハーサル室	8:30~17:00 カルチャー棟 リハーサル室		8:30~17:00 カルチャー棟 リハーサル室 センター棟 416号室(兼モニター室)		
ラジオドキュメント		開会行事 9:00~9:20 AB会場 401号室 発表 9:20~17:15 CD会場 402号室 センター棟 EF会場 403号室 GH会場 405号室 EF会場モニター室 センター棟304号室 GH会場モニター室 センター棟513号室		出場受付 9:00~9:10 開会行事 9:10~9:30 審査 9:30~16:00 センター棟 101号室  モニター室 センター棟 102号室	研究講座 III 16:10~17:00 センター棟 102号室	9:00~17:00 <b>NHKホール</b>
テレビドキュメント		開会行事 9:00~9:20 AB会場 416号室 発表 9:20~18:05 CD会場 309号室 センター棟 EF会場 310号室 GH会場 311号室		出場受付 9:00~9:10 開会行事 9:10~9:30 審査 9:30~16:40 カルチャー棟 大ホール	研究講座 IV 16:50~17:40 カルチャー棟 大ホール	
創作ラジオドラマ		開会行事 9:00~9:20 発表 9:20~18:05 AB会場 センター棟417号室 CD会場 国際交流棟国際会議室		出場受付 13:10~13:20 開会行事 13:20~13:40 審査 13:40~16:50 カルチャー棟 小ホール  モニター室 センター棟 501号室	研究講座 V・VI 17:00~17:50	
創作テレビドラマ		開会行事 9:00~9:20 発表 9:20~18:05 AB会場 大ホール カルチャー棟 CD会場 小ホール		出場受付 9:00~9:10 開会行事 9:10~9:30 審査 9:30~12:40 カルチャー棟 小ホール  モニター室 センター棟 501号室	カルチャー棟 小ホール	
校内放送研究発表会				研究集会 VII 研究発表・交流会 8:45~17:50 センター棟310・311号室		

## 1. ラジオ番組の制作に当たって

ラジオドキュメント部門・ラジオドラマ部門の番組制作に当たっては、審査における作品再生時の不具合を防ぐため、**作品の前後に 2 秒程度のブランク（無音）を入れてください。**

## 2. 提出物の提出日について（p 3 参照）

データ類の提出 →2024 年 7 月 3 日（水）締切

原稿・番組進行表→2024 年 7 月 5 日（金）正午までに事務局へ届くように郵送してください。

## 3. 番組部門の準々決勝審査について

番組部門では、準々決勝審査を事前に行い、7 月 23 日（火）の会場で作品の発表を行います。準々決勝審査結果の発表は、準決勝の 7 月 24 日（水）朝に行います。

## 4. アナウンス・朗読部門の準々決勝の審査時間帯変更について（p 4 参照）

運営の都合上、準々決勝のみ審査を各会場とも朗読→アナウンスの順で行います。70 コンテストの順とは異なりますのでご注意ください。詳細は、p 4 の日程一覧を確認してください。

## 5. 「研究発表」の変更点について（p 16 参照）

- (1) 発表用 PowerPoint のデータ容量制限が 30MB から 200MB に変更になります。
- (2) 発表時に利用する音声データや映像データはすべて PowerPoint に挿入してください。  
アニメーション機能は禁止ですが、データを挿入する際、場合によってはアニメーション機能が必要となるようです。この場合に限り、PowerPoint のアニメーション機能を認めます。（それ以外は禁止です）
- (3) 今回から、エントリー時に申請した発表校は製作物等を展示できます。展示場所は発表会場内になります。会場の広さの関係上、予定の数（16 校）を超えた場合は抽選を行います。抽選結果はブロックの編成と同時に発表します。
- (4) 報告号の掲載資料が発表用 PowerPoint 本体から PDF データに変更になります。発表校はエントリー時に PowerPoint と合わせて PDF データも提出してください。

## 6. 発表会場への入場について

発表会場への入場は顧問・関係生徒に限っています。保護者、OB・OG等は入場できません。

## 7. インターネット上の素材について

番組制作で、正式に契約したインターネット上の音楽・効果音素材は使用可能です。また、著作権者の指示によりダウンロードした素材も使用可能とします。詳細は、p17「番組制作について」、および「番組部門制作関連資料」([https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/))で確認してください。

## 1. アナウンス部門規定

- (1) アナウンスする内容は、自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限り、
- (2) アナウンスのはじめに、番号と氏名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め、**1分10秒以上1分30秒以内**とする。
- (3) 事前に提出するアナウンス原稿は、ダウンロードした様式1に従い、**仕上がりがA5判で2部**（コピー可）作成する。

## 2. 審査基準

- (1) 研究主題「私たち高校生と放送」のテーマに沿った内容となっており、自校の校内放送に使用する内容であること。
- (2) 審査の視点
  - a. 内容
    - (ア) 素材の選び方は適当であるか。
    - (イ) 文章表現は適当であるか。
  - b. アナウンスの技術
    - (ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
      - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
    - (イ) 正しく意味を伝える表現ができているか。
      - ・内容把握 ・イントネーション
      - ・言葉の立て方（プロミネンス）
      - ・アクセント
    - (ウ) 間（ポーズ）は適切か。
      - ・テンポ ・ポーズ
- (3) 点数は100点法とし、aとbの項に留意して総合的に採点する。

## 3. 参加申込および原稿の提出

出場者は、都道府県担当者の指示に従うこと。**提出後の原稿の変更は認めない。**なお、提出された原稿は返却しない。

## 4. 準々決勝

- (1) 出場者は、A・B・C・D・E・Fの6会場に分かれて、エントリー番号順に、事前に提出した原稿をアナウンスする。  
※エントリー出場ブロックごとに集合点呼を行う。Webサイトとプログラム号で発表される**集合点呼時刻厳守**。この点呼に遅れた場合は**失格**とする。
- (2) 審査は、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者をあわせ、各会場6名で行う。

- (3) 順位は、各会場6名の審査員の最高点、最低点を除いた400点満点とし、会場ごとに合計点の高い順に決定する。
- (4) 各会場から上位10名、計60名を準決勝出場者として推薦する。

## 5. 準決勝

- (1) 準決勝出場者は、準々決勝と同じ原稿に続けて、**プログラム号に載る課題文**をアナウンスする。  
※準決勝進出者一覧に発表される**集合点呼時刻厳守**。この点呼に遅れた場合は**失格**とする。
- (2) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員5名とNHKアナウンサー1名（専門職審査員）の計6名で行う。
- (3) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員5名の最高点、最低点を除いた400点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。
- (4) 準決勝出場者60名から、上位10名を決勝出場者として推薦する。

## 6. 校内放送活動研究集会（研究講座）I

朗読部門の準決勝終了後、アナウンス部門の研究講座を行う。（朗読部門と合同）

## 7. 決勝

- (1) 決勝出場者は、準々決勝と同じ原稿に続けて、**プログラム号で指示する決勝課題**をアナウンスする。
- (2) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。
- (3) 順位は、審査員の順位集計で以下の通りに決定する。  
優勝1 準優勝1 優秀2 優良6  
この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

## 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。規定違反の例としては、発表が提出原稿と違う、他の著作物の盗用、不適切な表現、著作権処理の不備、時間規定違反などがあげられる。

## 1. 朗読部門規定

- (1) 次の指定作品の中から 1 編を選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読する。作品の改変は認めない。**※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。本文中の ( ) 内も読むこと。(読み仮名・注を除く)**

### 朗読指定作品

- 1) 「泥流地帯」 三浦 綾子 著 (新潮文庫)  
 2) 「小さな幸せ 46 回」 よしもと ばなな 著 (中公文庫)  
 3) 「レキシントンの幽霊」 村上 春樹 著 (文春文庫)  
 4) 「チップス先生、さようなら」 ジェイムズ・ヒルトン 著 白石 朗 訳 (新潮文庫)  
 5) 「大鏡」 (出版社は問わない)

**注意** 電子書籍不可。1) は平成 21 年 56 刷改版以降のものに限る。2)、3) は収録作品のいずれを選んでも良い。4) は他の出版社、翻訳者のものは不可。5) は現代語訳不可。

2) の作者の現在の筆名は「吉本ばなな」である。

- (2) 朗読のはじめに、番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を読むこととし(学校名は読まない)、時間はそれらを含め**1分30秒以上2分以内**とする。

**※指定作品 3) は選定した収録作品の各タイトルを作品名として読むこと。5) については作品名のみで良い。**

- (3) 事前に提出する朗読原稿は、ダウンロードした様式 1 に従い、**仕上がり A 5 判で 2 部(コピー可)作成する。指定作品 1) ~ 4) については原稿表紙に抽出部分の開始ページを記入する。**

## 2. 審査基準

- (1) 審査の視点

### a. 内容

- (ア) 作品の選定は適当であるか。  
 (イ) 抽出部分は適切か。

### b. 朗読の技術

- (ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。  
 ・発声 ・発音 ・マイクの使い方  
 (イ) 正しく意味を伝える表現ができているか。  
 ・内容把握 ・イントネーション ・言葉の立て方(プロミネンス) ・アクセント  
 (ウ) 間(ポーズ)は適切か。  
 ・テンポ ・ポーズ

- (2) 点数は 100 点法とし、a と b の項に留意して総合的に採点する。

## 3. 参加申込および原稿の提出

出場者は、都道府県担当者の指示に従うこと。**提出後の作品、抽出部分の変更は認めない。**なお、

提出された原稿は返却しない。

## 4. 準々決勝

- (1) 出場者は、A・B・C・D・E・F の 6 会場に分かれて、エントリー番号順に、事前に提出した原稿を朗読する。**※エントリー会場のブロックごとに集合点呼を行う。Web サイトとプログラム号で発表される集合点呼時刻厳守。**この点呼に遅れた場合は**失格**とする。  
 (2) 審査は、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者をあわせ、各会場 6 名で行う。  
 (3) 順位は、各会場 6 名の審査員の最高点、最低点を除いた 400 点満点とし、会場ごとに合計点の高い順に決定する。  
 (4) 各会場から上位 10 名、計 60 名を準決勝出場者として推薦する。

## 5. 準決勝

- (1) 準決勝出場者は、準々決勝と同じ原稿に続けて、**プログラム号に載る課題文**を朗読する。**※準決勝進出者一覧に発表される集合点呼時刻厳守。**この点呼に遅れた場合は**失格**とする。  
 (2) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員 5 名と NHK アナウンサー 1 名(専門職審査員)の計 6 名で行う。  
 (3) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員 5 名の最高点、最低点を除いた 400 点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。  
 (4) 準決勝出場者 60 名から、上位 10 名を決勝出場者として推薦する。

## 6. 校内放送活動研究集会(研究講座)Ⅱ

朗読部門の準決勝終了後、朗読部門の研究講座を行う。(アナウンス部門と合同)

## 7. 決勝

- (1) 決勝出場者は、準々決勝と同じ原稿に続けて、**当日配付する決勝課題**を朗読する。  
 (2) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。  
 (3) 順位は、審査員の順位集計で以下の通りに決定する。  
 優勝 1 準優勝 1 優秀 2 優良 6  
 この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

## 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。規定違反の例としては、作品の改変、指定以外からの抽出、時間規定違反などがあげられる。

## 第 71 回 **NHK** 杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門 規程および審査について

制作にあたっては、P17『番組制作について』（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）を必ず読むこと

### 1. ラジオドキュメント部門規定

- (1) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を活かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
- (2) 様式規定に従った番組進行表 1 部を作成する。
- (3) 作品は、**6分30秒以上7分以内**でまとめる。作品の最後には「制作は〇〇高等学校（放送部・放送委員会等）でした。」というクレジットコールを入れる。**クレジットコールには、クレジットコール以外の音声を入れない。**  
また、**作品の前後に2秒程度のブランク（無音）**を入れること。
- (4) 計時は、**最初の音から、クレジットコールの終わり（……でした）まで**とする。
- (5) 作品データは、**音声ファイルMP3形式**で提出する。

#### ※制作にあたっての注意

審査は公開で行われること、また参加作品をNHKの地域放送や特集番組などで放送したり、イベントやWebサイト、印刷物などに利用したりすることがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物の権利者に利用のための許諾を得ること。

### 2. 審査基準

- (1) 研究主題「私たち高校生と放送」のテーマに沿った、高校生に向けた内容であること。
- (2) 審査の視点
  - a. 企画・内容
    - (ア) 「私たち高校生と放送」という統一テーマを理解し、高校生をとりまく素材の中から適切なものを求め、効果的に表現しているか。
    - (イ) ラジオの特性を活かした作品になっているか。
  - b. 制作技術
    - (ア) 構成・演出
    - (イ) 取材の方法や努力
    - (ウ) ナレーション
    - (エ) 技術
      - ・録音の技術
      - ・編集の技術
      - ・音楽や効果音の使い方 など
- (3) 点数は100点法とし、aとbの項に留意して総合的に採点する。

### 3. 参加申込および番組進行表／作品の提出

出場校は、都道府県担当者の指示に従って、番組進行表および作品のデータを期日までに提出すること。提出された番組進行表は返却しない。

### 4. 準々決勝

- (1) 発表は、A B・C D・E F・G Hの4会場に分かれて行う。
- (2) 審査は、A～Hの8グループに分けて、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者を合わせて、各グループ5名でリモートで行う。
- (3) 順位は、各会場5名の審査員の最高点、最低点を除いた300点満点とし、グループごとに合計点の高い順に決定する。
- (4) 各グループから上位5作品、計40作品を準決勝に推薦する。

### 5. 準決勝

- (1) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員5名とNHK番組制作担当者1名（専門職審査員）の計6名で行う。
- (2) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員5名の最高点、最低点を除いた400点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。
- (3) 40作品から上位4作品を決勝に推薦する。

### 6. 校内放送活動研究会（研究講座）Ⅲ

ラジオドキュメント部門の準決勝終了後、研究講座を行う。

### 7. 決勝

- (1) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。
- (2) 順位は、審査員の順位集計で以下の通りに決定する。
 

優勝 1    準優勝 1    優秀 2

 この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

### 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。

規定違反の例としては、他の著作物の盗用、不適切な表現、著作権処理の不備、時間規定違反などがあげられる。

## 9. 様式規定

### (1) 番組進行表

ダウンロードした様式2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, その他必要な書類を綴じたものを番組進行表と呼ぶ。表の規定に従った様式をコンテストのWebサイトよりダウンロードして、必要事項を記入し、**A4判**でプリントアウトしたものを左上で綴じて**1部**提出する。(両面印刷はしない)。

PDF形式にしたものも提出する。

### 番組進行表について

(表中の◎の内容は必ず添付する)

◎表紙制作意図スタッフ確認欄 (様式2-1)	プログラムに掲載できる作品名は全角15文字までとなる。 制作意図は200字程度にまとめる。	
◎CUEシート (様式2-2)	作品に使用したすべての著作物(様式2-3の権利処理一覧表に記入したもの)が、どこでどのように使用されたのかが一目でわかるように記入する。	
◎権利処理一覧表 (様式2-3)	<b>作品に使用した著作物</b> (音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真・パソコンソフト及びデータなど)と <b>権利処理内容</b> (取材場所・施設・イベント主催者など)をすべて一覧表に記載する。これらは、著作権処理が不要の物であっても必ず記載する。また著作物を使用しない場合には、表中に大きく「なし」と記載する。	
音源を使用した場合	日本レコード協会の許諾証	日本レコード協会のWebサイトで申請し、発行される許諾証を必ず添付する。
	音源使用許諾申請書 音源使用申請に対する回答書 (様式2-4)	著作権隣接権がレコード会社にある音源を使用した場合には必ず添付する。様式2-4を使用しない場合は、使用を許諾された内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。

著作権者からの使用許諾書のコピー	JASRAC管理の楽曲を使用した場合は、JASRACの録音利用許諾書等のコピーを必ず添付する。それ以外の楽曲の場合は、使用を認められた内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
著作権フリー素材関連書類	著作権フリー素材を使用する場合、素材のタイトル(曲名)が記された部分のコピーおよび使用条件が記載された文面(使用条件の記載箇所はジャケットとは限らないので注意)のコピーを必ず添付する。
音源以外の著作物の使用、取材の許諾など (様式2-5)	取材にあたって許諾を必要とする場合は様式2-5を添付する。写真、画像等の著作物を使用する場合は必ず許諾をとること。

※「ご協力のお願い」は添付しないこと。

NHK杯全国高校放送コンテストWebサイト

[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)

(放送教育ネットワーク Webサイト内)

## 第 71 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 規程および審査について

制作にあたっては、P17『番組制作について』（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）を必ず読むこと

### 1. テレビドキュメント部門規定

- (1) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、テレビの特性を活かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
- (2) 様式規定に従った番組進行表 1 部を作成する。
- (3) 作品は、**7分30秒以上8分以内**でまとめる。  
**作品の最後には、制作した学校名の入ったクレジットを入れる。**  
また、様式3のテストパターンを**作品の前後に5秒ずつ**入れること。
- (4) 計時は、**初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまで**とする。  
テストパターンは変更してはいけない。
- (5) テレビ放送番組などの再録を主体としたものは認めない。
- (6) 作品は次の形式で提出する。  
**MP4形式（アスペクト比16:9、H.264コーデック、HD画質以下【解像度1080[1920×1080]以下】）SD画質も可。**

#### ※制作にあたっての注意

審査は公開で行われること、また参加作品をNHKの地域放送や特集番組などで放送したり、イベントやWebサイト、印刷物などに利用したりすることがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物の権利者に利用のための許諾を得ること。

### 2. 審査基準

- (1) 研究主題「私たち高校生と放送」のテーマに沿った、高校生に向けた内容であること。
- (2) 審査の視点
  - a. 企画・内容
    - (ア) 「私たち高校生と放送」という統一テーマを理解し、高校生をとりまく素材の中から適切なものを求め、効果的に表現しているか。
    - (イ) テレビの特性を活かした作品になっているか。
  - b. 制作技術
    - (ア) 構成・演出
      - (イ) 取材の方法や努力
      - (ウ) ナレーション
    - (エ) 技術
      - ・撮影・録音の技術
      - ・編集の技術
      - ・音楽や効果音の使い方 など
- (3) 点数は100点法とし、aとbの項に留意して総合的に採点する。

### 3. 参加申込および番組進行表／作品の提出

出場校は、都道府県担当者の指示に従って、番組進行表および作品データを期日までに提出すること。  
提出された番組進行表は返却しない。

### 4. 準々決勝

- (1) 発表は、AB・CD・EF・GHの4会場に分かれて行う。
- (2) 審査はA～Hの8グループに分けて、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者を合わせて、各グループ5名でリモートで行う。
- (3) 順位は、各会場5名の審査員の最高点、最低点を除いた300点満点とし、グループごとに合計点の高い順に決定する。
- (4) 各グループから上位5作品、計40作品を準決勝に推薦する。

### 5. 準決勝

- (1) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員5名とNHK番組制作担当者1名(専門職審査員)の計6名で行う。
- (2) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員5名の最高点、最低点を除いた400点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。
- (3) 40作品から上位4作品を決勝に推薦する。

### 6. 校内放送活動研究集会(研究講座)VI

テレビドキュメント部門の準決勝終了後、研究講座を行う。

### 7. 決勝

- (1) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。
- (2) 順位は、審査員の順位集計で以下の通りに決定する。  
優勝1 準優勝1 優秀2  
この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

### 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。

規定違反の例としては、他の著作物の盗用、不適切な表現、著作権処理の不備、時間規定違反などがあげ

られる。

## 9. 様式規定

### (1) 番組進行表

ダウンロードした様式2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5、その他必要な書類を綴じたものを番組進行表と呼ぶ。表の規定に従った様式をコンテストのWebサイトよりダウンロードして、必要事項を記入する。**A 4判**でプリントアウトしたものを左上で綴じて**1部**提出する。(両面印刷はしない)

PDF形式にしたものも提出する。

### (2) テストパターン (様式3)

指定のテストパターンを改変せずに使用する。

テストパターンはコンテストのWebサイトからダウンロードすること。

## 番組進行表について

(表中の◎の内容は必ず添付する)

◎表紙 制作意図 スタッフ 確認欄 (様式2-1)	プログラムに掲載できる作品名は全角15文字までとなる。 制作意図は200字程度にまとめる。
◎CUEシート (様式2-2)	作品に使用したすべての著作物(様式2-3の権利処理一覧表に記入したものが、どこでどのように使用されたのかが一目でわかるように記入する。
◎権利処理一覧表 (様式2-3)	<b>作品に使用した著作物</b> (音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真・パソコンソフト及びデータなど) <b>と権利処理内容</b> (取材場所・施設・イベント主催者など)を <b>すべて一覧表に記載する。</b> これらは、著作権処理が不要の物であっても必ず記載する。また著作物を使用しない場合には、表中に大きく「なし」と記載する。

音源を使用した場合	日本レコード協会の許諾証	日本レコード協会のWebサイトで申請し、発行される許諾証を必ず添付する。
	音源使用許諾申請書 音源使用申請に対する回答書 (様式2-4)	著作権隣接権がレコード会社にある音源を使用した場合には必ず添付する。 様式2-4を使用しない場合は、使用を許諾された内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権者からの使用許諾書のコピー	JASRAC管理の楽曲を使用した場合は、JASRACの録音利用許諾書等のコピーを必ず添付する。それ以外の楽曲の場合は、使用を認められた内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権フリー素材関連書類	著作権フリー素材を使用する場合、素材のタイトル(曲名)が記された部分のコピーおよび使用条件が記載された文面(使用条件の記載箇所はジャケットとは限らないので注意)のコピーを必ず添付する。
音源以外の著作物の使用、取材の許諾など (様式2-5)	取材にあたって許諾を必要とする場合は様式2-5を添付する。写真、画像等の著作物を使用する場合は必ず許諾をとること。	

※ 「ご協力のお願ひ」は添付しないこと。

NHK杯全国高校放送コンテストWebサイト  
[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)  
 (放送教育ネットワーク Webサイト内)

## 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト 創作ラジオドラマ部門 規程および審査について

制作にあたっては、P17『番組制作について』（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）を必ず読むこと

### 1. 創作ラジオドラマ部門規定

- (1) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。**文芸作品などからの脚色や改作は認めない。**
- (2) 様式規定に従った番組進行表1部を作成する。
- (3) 作品は、**8分以内**でまとめる。作品の最後には「制作は〇〇高等学校（放送部・放送委員会等）でした。」というクレジットコールを入れる。**クレジットコールには、クレジットコール以外の音声を入れない。**  
また、**作品の前後に2秒程度のブランク（無音）**を入れること。
- (4) 計時は、**最初の音から、クレジットコールの終わり（……でした）まで**とする。
- (5) **出演者は自校生徒に限る。**
- (6) 作品データは、**音声ファイルMP3形式**で提出する。

#### ※制作にあたっての注意

審査は公開で行われること、また参加作品をNHKの地域放送や特集番組などで放送したり、イベントやWebサイト、印刷物などに利用したりすることがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物の権利者に利用のための許諾を得ること。

### 2. 審査基準

- (1) 研究主題「私たち高校生と放送」のテーマに沿った、高校生に向けた内容であること。
- (2) 審査の視点
  - a. 企画・内容
    - (ア) 原作・脚本・演出などにオリジナリティがあるか。
    - (イ) ラジオの特性を活かした作品になっているか。
  - b. 制作技術
    - (ア) 構成・演出
    - (イ) 取材の方法や努力
    - (ウ) 演技
    - (エ) 技術
      - ・録音の技術
      - ・編集の技術
      - ・音楽や効果音の使い方 など
- (3) 点数は100点法とし、aとbの項に留意して総合的に採点する。

### 3. 参加申込および番組進行表／作品の提出

出場校は、都道府県担当者の指示に従って、番組進行表および作品のデータを期日までに提出すること。

提出された番組進行表は返却しない。

### 4. 準々決勝

- (1) 発表は、A・B・C・Dの2会場に分かれて行う。
- (2) 審査はA～Dの4グループに分けて、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者を合わせて、各グループ5名でリモートで行う。
- (3) 順位は、各会場5名の審査員の最高点、最低点を除いた300点満点とし、グループごとに合計点の高い順に決定する。
- (4) 各グループから上位5作品、計20作品を準決勝に推薦する。

### 5. 準決勝

- (1) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員5名とNHK番組制作担当者1名（専門職審査員）の計6名で行う。
- (2) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員5名の最高点、最低点を除いた400点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。
- (3) 20作品から上位3作品を決勝に推薦する。

### 6. 校内放送活動研究集会（研究講座）V

創作ラジオドラマ部門の準決勝終了後、研究講座を行う。

### 7. 決勝

- (1) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。
- (2) 順位は、審査員の順位集計で以下の通りに決定する。  
優勝1 準優勝1 優秀1  
この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

### 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。

規定違反の例としては、他の著作物の盗用、不適切な表現、自校生徒以外の出演、著作権処理の不備、時間規定違反などがあげられる。

### 9. 様式規定

#### (1) 番組進行表

ダウンロードした様式2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5、その他必要な書類を綴じたものを番組進行表と呼ぶ。右の表の規定に従った様式をコンテストのWebサイトよりダウンロードして、

必要事項を記入し、**A4判**でプリントアウトしたものを左上で綴じて**1部**提出する。(両面印刷はしない)

PDF形式にしたものも提出する。

### 番組進行表について

(表中の◎の内容は必ず添付する)

◎表紙制作意図あらすじスタッフ・キャスト確認欄 (様式2-1)	プログラムに掲載できる作品名は全角15文字までとなる。 制作意図は200字程度にまとめる。 あらすじは結末まで入れて400字程度にまとめる。
◎CUEシート (様式2-2)	作品に使用したすべての著作物(様式2-3の権利処理一覧表に記入したもの)が、どこでどのように使用されたのかが一目でわかるように記入する。
◎権利処理一覧表 (様式2-3)	作品に使用した著作物(音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真・パソコンソフト及びデータなど)と権利処理内容(取材場所・施設・イベント主催者など)をすべて一覧表に記載する。 これらは、著作権処理が不要の物であっても必ず記載する。また著作物を使用しない場合には、表中に大きく「なし」と記載する。

音源を使用した場合	日本レコード協会の許諾証	日本レコード協会のWebサイトで申請し、発行される許諾証を必ず添付する。
	音源使用許諾申請書 音源使用申請に対する回答書 (様式2-4)	著作権隣接権がレコード会社にある音源を使用した場合には必ず添付する。 様式2-4を使用しない場合は、使用を許諾された内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権者からの使用許諾書のコピー	JASRAC管理の楽曲を使用した場合は、JASRACの録音利用許諾書等のコピーを必ず添付する。それ以外の楽曲の場合は、使用を認められた内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権フリー素材関連書類	著作権フリー素材を使用する場合、素材のタイトル(曲名)が記された部分のコピーおよび使用条件が記載された文面(使用条件の記載箇所はジャケットとは限らないので注意)のコピーを必ず添付する。
音源以外の著作物の使用、取材の許諾など (様式2-5)	取材にあたって許諾を必要とする場合は様式2-5を添付する。写真、画像等の著作物を使用する場合は必ず許諾をとること。	

※「ご協力のお願い」は添付しないこと。

NHK杯全国高校放送コンテストWebサイト  
[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)  
 (放送教育ネットワーク Webサイト内)

## 第 71 回 **NHK** 杯全国高校放送コンテスト 創作テレビドラマ部門 規程および審査について

制作にあたっては、P17『番組制作について』（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）を必ず読むこと

### 1. 創作テレビドラマ部門規定

- (1) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。**文芸作品などからの脚色や改作は認めない。**
- (2) 様式規定に従った番組進行表1部を作成する。
- (3) 作品は、**8分以内**でまとめる。**作品の最後には、制作した学校名の入ったクレジットを入れる。**  
また、様式3のテストパターンを**作品の前後に5秒ずつ**入れること。
- (4) 計時は、**初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまで**とする。  
テストパターンは改変してはいけない。
- (5) **出演者は自校生徒に限る。**
- (6) 作品は次の形式で提出する。  
**MP4形式（アスペクト比16:9、H.264コーデック、HD画質以下【解像度1080[1920×1080]以下】）SD画質も可。**

#### ※制作にあたっての注意

審査は公開で行われること、また参加作品をNHKの地域放送や特集番組などで放送したり、イベントやWebサイト、印刷物などに利用したりすることがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物の権利者に利用のための許諾を得ること。

### 2. 審査基準

- (1) 研究主題「私たち高校生と放送」のテーマに沿った、高校生に向けた内容であること。
- (2) 審査の視点
  - a. 企画・内容
    - (ア) 原作・脚本・演出などにオリジナリティがあるか。
    - (イ) テレビの特性を活かした作品になっているか。
  - b. 制作技術
    - (ア) 構成・演出
    - (イ) 取材の方法や努力
    - (ウ) 演技
    - (エ) 技術
      - ・撮影・録音の技術
      - ・編集の技術
      - ・音楽や効果音の使い方 など
- (3) 点数は100点法とし、aとbの項に留意して総合的に採点する。

### 3. 参加申込および番組進行表／作品の提出

出場校は、都道府県担当者の指示に従って、番組進行

表および作品データを期日までに提出すること。  
提出された番組進行表は返却しない。

### 4. 準々決勝

- (1) 発表は、AB・CDの2会場に分かれて行う。
- (2) 審査はA～Dの4グループに分けて、都道府県研究会が推薦する者とコンテスト委員会が推薦する者を合わせて、各グループ5名でリモートで行う。
- (3) 順位は、各会場5名の審査員の最高点、最低点を除いた300点満点とし、グループごとに合計点の高い順に決定する。
- (4) 各グループから上位5作品、計20作品を準決勝に推薦する。

### 5. 準決勝

- (1) 審査は、準々決勝(2)と同様の審査員5名とNHK番組制作担当者1名(専門職審査員)の計6名で行う。
- (2) 順位は、専門職審査員の点数と、他の審査員5名の最高点、最低点を除いた400点満点として、合計点の高い順に決定する。この際、準々決勝の得点を参考にしない。
- (3) 20作品から上位3作品を決勝に推薦する。

### 6. 校内放送活動研究集会(研究講座)VI

創作ラジオドラマ部門の準決勝終了後、研究講座を行う。

### 7. 決勝

- (1) 審査は、主催者が委嘱する者で行う。
- (2) 順位は、審査員の順位集計で以下の通り決定する。  
優勝1 準優勝1 優秀1  
この際、準決勝の得点や順位を参考にしない。

### 8. 規定違反について

コンテストの規定に対して違反があった場合は、失格も含め減点の対象とする。なお、重大な違反が判明した場合には、コンテスト終了後においても賞の取り消しをすることがある。

規定違反の例としては、他の著作物の盗用、不適切な表現、自校生徒以外での出演、著作権処理の不備、時間規定違反などがあげられる。

## 9. 様式規定

### (1) 番組進行表

ダウンロードした様式2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5、その他必要な書類を綴じたものを番組進行表と呼ぶ。表の規定に従った様式をコンテストのWebサイトよりダウンロードして、必要事項を記入する。**A4判**でプリントアウトしたものを左上で綴じて**1部**提出する。(両面印刷はしない)

PDF形式にしたものも提出する。

### (2) テストパターン (様式3)

指定のテストパターンを改変せずに使用する。**テストパターンはコンテストのWebサイトからダウンロードすること。**

### 番組進行表について

(表中の◎の内容は必ず添付する)

◎表紙 制作意図 あらすじ スタッフ・ キャスト 確認欄 (様式2-1)	プログラムに掲載できる作品名は全角15文字までとなる。 制作意図は200字程度にまとめる。あらすじは結末まで入れて400字程度にまとめる。
◎CUEシート (様式2-2)	作品に使用したすべての著作物(様式2-3の権利処理一覧表に記入したもの)が、どこでどのように使用されたのかが一目でわかるように記入する。
◎権利処理 一覧表 (様式2-3)	<b>作品に使用した著作物</b> (音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真・パソコンソフト及びデータなど)と <b>権利処理内容</b> (取材場所・施設・イベント主催者など)をすべて一覧表に記載する。 これらは、著作権処理が不要の物であっても必ず記載する。また著作物を使用しない場合には、表中に大きく「なし」と記載する。

音源を使用した場合	日本レコード協会の許諾証	日本レコード協会のWebサイトで申請し、発行される許諾証を必ず添付する。
	音源使用許諾申請書 音源使用申請に対する回答書 (様式2-4)	著作権隣接権がレコード会社にある音源を使用した場合には必ず添付する。 様式2-4を使用しない場合は、使用を許諾された内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権者からの使用許諾書のコピー	JASRAC管理の楽曲を使用した場合は、JASRACの録音利用許諾書等のコピーを必ず添付する。それ以外の楽曲の場合は、使用を認められた内容が記載された文書のコピーを必ず添付する。
	著作権フリー素材関連書類	著作権フリー素材を使用する場合、素材のタイトル(曲名)が記された部分のコピーおよび使用条件が記載された文面(使用条件の記載箇所はジャケットとは限らないので注意)のコピーを必ず添付する。
音源以外の著作物の使用、取材の許諾など (様式2-5)	取材にあたって許諾を必要とする場合は様式2-5を添付する。写真、画像等の著作物を使用する場合は必ず許諾をとること。	

※ 「ご協力のお願い」は添付しないこと。

NHK杯全国高校放送コンテストWebサイト  
[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)  
 (放送教育ネットワーク Webサイト内)

発表会で提示する資料についても権利処理が必要です。P17『番組制作について』（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）を必ず読むこと。

## 1. 目的

日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する機会を設け、各学校が持つ諸問題を共有し、共に解決することを目的とする。

## 2. 発表について

- (1) 発表内容は、校内放送に関するものに限る（校内放送の技術、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など）。コンテストにエントリーしている関連の内容、または類似の内容であってはいけない。今回のコンテスト参加作品の上映は、たとえ一部であっても一切認めない。なお、メーカー名、商品名の写り込みを避け、特定の商品のPRも避けること。
- (2) 本発表会は発表技術を競うものではない。問題解決の結論を重視すること。
- (3) 発表は、PowerPoint を使用したスクリーン1面のプレゼンテーションとする。発表時間は機材調整を含め8分以内とし、発表者は機器操作も含めて3人までとする。録音・録画を主体とする発表は認めない。
- (4) PowerPoint のデータ容量は200MB以内とする。誤作動などを防ぐためにスライド画面の切り替え効果とアニメーションの使用は禁止する。ただし音声や動画の挿入はアニメーションとはみなさない。
- (5) 発表校には、『研究奨励』が贈られる。
- (6) 会場には、主催者が以下の機器を用意する。
  - a. ノートパソコン1台 (Windows11) PowerPoint2019
  - b. マイク (2本)
  - c. 卓上ライト
  - d. レーザーポインタ

## 3. 発表の進行について

- (1) 発表は、2つの会場に分かれて、5校以上10校以下のブロックごとに行う。発表校は自校が発表するブロックの集合時間に参集し、指定された順番で発表を行う。ブロックの全ての発表の終了後に交流会を行う。ブロックの編成、発表の会場と順番は参加申し込み後、NHK杯全国高校放送コンテストWebサイトで発表する。
- (2) 発表の内容に合わせて以下の3類型を設定する。Ⅰ類 = アナウンスや朗読に関する研究。Ⅱ類 = 番組制作に関する研究。Ⅲ類 = その他 (学校行事の運営や校内放送など)。発表校はエントリーの際に自校の発表がどの類型に該当するかを申告する。
- (3) 発表当日のブロック集合の後に機材の操作確認とPowerPointの起動チェックをする。

- (4) 発表中は会場を消灯する。
- (5) 発表中に、印刷物の配付や、両手で掲げられる程度の大きさの製作物を提示することはかまわないが、発表中に大きな作品を組み立てたり設置したりすることは認めない。ただし、事前に(エントリー時に)申請して許可された発表校に限り、会場後方に製作物等を展示することができるスペースを与える。展示スペースの広さは約180cm×180cmとし長机1台を提供する。会場の都合上、このスペースに展示できるのは最大16校とし、それを超える申請があった場合には抽選を行う。抽選結果はブロックの編成と同時に発表する。
- (6) いずれの場合も持ち込んだ機材を電源等の会場設備に接続することは認めない。

## 4. NHKホールでの発表について

- (1) 発表校を代表して2校に各部門の決勝が行われるNHKホールでの発表の場を設定する。
- (2) 代表校は2つの発表会場からそれぞれ1校を各会場の発表者の意見を反映させる形で選出する。代表校は2024年7月25日(木)にNHKホールで発表する。
- (3) 発表の形式については「2.発表について」に準じる。ただし会場は消灯しないので卓上ライトは使用しない。レーザーポインタは使えない。

## 5. 研究要旨・番組進行表・著作権処理の提出

- (1) 発表校は、研究要旨(研究の目的と方法論と結論を、わかりやすく200字程度でまとめたもの)を都道府県担当者に提出する。展示の希望がある場合にはあわせて申請する。都道府県担当者は指定のExcelシートに入力して、2024年6月28日(金)までに提出する。(p3参照)
- (2) 発表は公開を前提としているので、番組進行表を提出する。著作権処理が必要なもの(BGM、写真など)については、番組部門と同様の処理を行う。様式2-1(開発)、2-2(開発用)、2-3、必要に応じて2-4、2-5を2024年7月3日(水)までに提出する。(p3参照)

## 6. 発表用PowerPointおよびPDFデータの提出

- (1) 発表校は、PowerPointのデータを2024年7月3日(水)までに提出する。(p3参照)
- (2) 研究内容を共有するためPowerPointのデータのPDFを報告号に掲載する。発表校は報告号掲載用のPDFデータを2024年7月3日(水)までに提出する。(p3参照)
- (3) 発表は提出したPowerPointデータを使って行うこと。提出後の変更は認めない。

※PowerPoint、Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国の登録商標です。

## 番組制作について（詳細は「番組部門制作関連資料」参照）

手続きに必要な様式と記入例、記入上の注意をダウンロードしてご利用ください

[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)



番組制作は著作物の創造です。制作者であるみなさんは、自分の著作物を勝手に使用されたり改変されたりしない権利を有しています。制作にあたって他者の権利を尊重し、著作権や肖像権等を守るのは、自分の権利を守るのと同じことです。制作者・情報発信者であるみなさんは、企画の段階からこの点に配慮し、必要な手続きをとって、取材や制作を進めてください。

### ☆ 公開のための手続きを必ず行ってください

参加規定にある通り「放送コンテスト」ですので、放送（公開）することを前提としています。参加作品をNHKの地域放送や特集番組、Web サイトなどで公開したり、イベントや印刷物等に使用したりすることがあります。次項「権利処理について」を参照し、これらの手続きを行ってください。コンテストでは円滑な作品発表を期すために下記の事項が既処理であることを確認の上運営する必要があります。作品提出時に、これらが既処理であることを示す書類も一緒に提出してください。**手続きが行われていない場合、審査・公開できないことがあります。**

### ☆ 権利処理について

#### 1. 著作権

**映像や画像、音楽、書籍など、自分以外の人で創作したものを素材として使用する場合**

- (1) オリジナルを創った人の許諾が必要です。
- (2) 大きく写り込んだ登録商標や、音声での登録商標の表現等についても使用の可否を確認する必要があります。

#### 2. 肖像権

**他の人の顔や姿などを当該人物だと確認できる状態で使用する場合**

- (1) 基本的にその人（または保護者や管理者等）の許諾が必要です。本人の事情等で作品中への映り込みが問題になってしまう場合もあります。特に学童など本人が映り込みの可否を判断できない場合は、保護者や管理者の許諾を確実に得てください。
- (2) 肖像権ではありませんが、他人の敷地内や施設内で無断で取材を行うなど、他人の権利を侵害することがあってはいけません。自校の行事等であっても、主催者（多くは学校長）の許諾が必要です。

#### 3. その他（コンテストで発表して支障がないか）

誰かを誹謗中傷するものや残酷な内容、著しく反社会的な内容、公序良俗に反する内容などはコンテストへの出品内容としては適当ではありません。

### ☆ 手続きには時間がかかります

取材や著作物使用に関するすべての手続きは、**都道府県コンテスト（または都道府県が指示する地区コンテスト）までに完了してください。**

書類提出締切直前に著作物の使用許諾を申請することは、関係機関に多大な迷惑をかけ、コンテストに関わる全作品の許諾に支障が出る恐れもあります。まず、関係機関の Web サイトで手続きについて確認し、十分な余裕を持って申請を行ってください。許諾書が間に合わない場合も、審査・公開できないことがあります。







取材許諾・著作物等ご提供のお願い

年 月 日

様(御中)

このたびは、NHK杯全国高校放送コンテストの応募作品にご協力をいただき、まことにありがとうございます。ご協力をいただく作品につきまして、下記に示した利用方法での活用にご承諾をいただきました。ご依頼申し上げます。どうかよろしくお願いたします。

◎ 許諾または提供いただくもの

内容	権利処理番号・記号

◎ 依頼者

学校名(団体名) \_\_\_\_\_  
 代表者(顧問)名 \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_  
 連絡先 \_\_\_\_\_  
 担当者(制作者)名 \_\_\_\_\_  
 応募作品名 \_\_\_\_\_  
 電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

【利用方法】

- ① NHK杯全国高校放送コンテスト(地区コンテスト・全国コンテスト)での公開
- ② 主催者による作品の使用および部分使用  
(放送、広報、イベント、Webサイトでの配信(※Web上での作品データの審査および授受を含む)等)

本枠内にご記入ください

許諾書

学校名 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 代表者(顧問)名 \_\_\_\_\_ あり

私は、今回協力する作品やその作品素材の映像・音声が保存され、上記の利用方法で活用されることを許諾します。  
 なお、この件については、(無償・次の条件)で許諾することとします。

◎ 許諾者  
 ご所属 \_\_\_\_\_  
 ご職位 \_\_\_\_\_  
 ご署名 \_\_\_\_\_

ご協力をお願い

年 月 日

様(御中)

このたびは、NHK杯全国高校放送コンテストの応募作品にご協力をいただき、まことにありがとうございます。ご協力をいただく作品につきまして、下記に示した利用方法での活用をご依頼申し上げます。どうかよろしくお願いたします。

◎ ご協力内容

◎ 依頼者

学校名(団体名) \_\_\_\_\_  
 代表者(顧問)名 \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_  
 連絡先 \_\_\_\_\_  
 担当者(制作者)名 \_\_\_\_\_  
 応募作品名 \_\_\_\_\_  
 電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

◎ 利用方法

- ① NHK杯全国高校放送コンテスト(地区コンテスト・全国コンテスト)での公開
- ② 主催者による作品の使用および部分使用  
(放送、広報、イベント、Webサイトでの配信(※Web上での作品データの審査および授受を含む)等)

見 本

様式は次のURLからダウンロードしてください。  
[https://hosokyoiku.jp/ncon\\_h/](https://hosokyoiku.jp/ncon_h/)  
 (放送教育ネットワーク Webサイト内)  
 高校放送コンテスト > 2024年度 第71回 > 各部門様式



## 番組進行表 提出前のチェック項目

**番組制作時および提出前にチェックを行い、違反や不備がないようにしてください。**

チェック

1	様式2-1	必要事項を記入している(創作ドラマ部門のあらすじは結末まで書いている)。	
2	様式2-1	スタッフ・キャスト(番組制作者)を記入している。	
3	様式2-1	著作権管理団体の許諾を受けた場合、許諾番号を記入している。	
4	様式2-2	著作物の音声レベルを記入している。	
5	様式2-2	時間を開始から終了まで内容ごとに記入している。	
6	様式2-2	権利処理番号は他の様式、添付書類と統一して記入している。	
7	様式2-2	権利手続きの分類を記入している。	
8	様式2-2	様式2-3と同一の権利手続き内容を記入している。	
9	様式2-2	音声・映像ごとに内容を記入している。	
10	様式2-2	一つ一つのナレーション・セリフの始まりと終わりを記入している。	
11	様式2-2 様式2-3	添付書類不要の権利処理番号に○をつけている。	
12	様式2-3	音楽著作物はCDタイトルと曲名を記入している。	
13	様式2-3	自作の著作物(音源含む)については「自作」と記入している。	
14	様式2-3	権利者の許諾書欄に記入している。消失・自作は斜線を記入している。	
15	様式2-3	著作隣接権者(演奏者・レコード協会等)欄に記入している。	
16	様式2-3	オリジナルの所有者を記入している。	
17		CD使用の許諾を得て、レコード協会の許諾証または様式2-4を添付している。	
18		著作権管理団体または該当する著作権者から楽曲使用の許諾を得て、必要書類を添付している。	
19	様式2-5	イベント・公式試合・競技会等の取材について、主催者の許諾書を添付している。	
20	様式2-5	録音・撮影が制限される場所・先方が文書を求める場合の取材について、管理者の許諾書を添付している。	
21	様式2-5	乳幼児・小中学生の映像・音声で、個人が特定される場合は、保護者の許諾書(団体の責任者が保護者の許諾を得ている証明の文書)を添付している。	
22	様式2-5	著作物の使用について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
23	様式2-5	校歌等学校の曲(著作権管理団体の管理外の場合)の使用について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
24	様式2-5	演技者・演奏者(「ご協力のお願ひ」で取材の了解を得た取材対象者を含む)の演技・演奏の使用について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
25	様式2-5	番組制作者以外が制作した著作物・収録した音声や映像について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
26	様式2-5	写真の使用について権利者(撮影者・所有者・被写体となった人)の許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
27		朱書きの指示がある書類に、使用素材ごとに権利処理番号を朱書きし、添付している。	
28		著作権フリーCDの使用条件を示した部分のコピーを添付している。	
◇		使用不可のインターネット上の素材を使用していない。	
◇		レンタル店・図書館等から借りた音源を使用していない。	
◇		他のコンテスト・コンクール等に参加した作品またはそれを改変・改編した作品ではない。	
◇		顧問および都道府県担当者が不備のないことを確認し、様式2-1の「参加校顧問」「都道府県担当者」の確認欄にチェックを入れ、確認者の氏名を記入している。	

これは提出書類ではありません。各校・各都道府県でご活用ください。

# NHK 杯全国高校放送コンテスト 会場マップ



## 会場アクセス

国立オリンピック記念青少年総合センター	NHKホール
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小田急線(各駅停車)参宮橋駅下車 徒歩約7分</li> <li>• 東京メトロ千代田線代代木公園駅下車 徒歩約10分</li> <li>• 渋谷駅・新宿駅より京王バス 宿51系統 代代木五丁目下車</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JR原宿駅(東京メトロ明治神宮前駅)下車 徒歩10分</li> <li>• 渋谷駅下車 徒歩15分</li> <li>• 東京メトロ千代田線代代木公園駅下車 徒歩15分</li> </ul>

<✕毛欄>



令和6年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

## 「朗読コンテスト」開催について(予定のご案内)

主催/文京区

主管/跡見学園女子大学

協力/(一財)NHK 財団

昨年11月に開催いたしました朗読コンテストでは、たくさんのご応募ありがとうございました。  
多くの個人応募、団体応募をいただき、若い皆さんの「朗読」に対する関心の高さをあらためて実感したところです。

文京区では、第13回目となる「朗読コンテスト」を、下記のように開催いたします。  
一人でも多くの青少年の皆さんに本選出場をしていただけるよう、昨年に引き続き部門別のコンテストを行います。

## 課題作家 選考中

- \* 昨年は「文京区・盛岡市 友好都市提携5周年事業」として宮沢賢治の7作品を課題作としました。  
「グスコブドリの伝記」「さるのこしかけ」「なめとこ山の熊」「やまなし」  
「よだかの星」「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」

本選開催日 令和6年11月

\* 事前録音審査は9月上旬

部 門 1.「青少年の部」(23歳以下)

2.「一般の部」

課題作家も含め詳細は、令和6年7月上旬ごろに文京区、跡見学園女子大学のホームページ等で広くご案内をいたします。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

跡見学園女子大学

<http://www.atomi.ac.jp/univ/>

# R 映像学部・映像研究科は2024年4月、 大阪いばらきキャンパスに移転します

RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY

大阪いばらきキャンパスへの移転によって、大阪・京都を軸とした  
関西圏の映像文化の発展に貢献するとともに、映像制作・研究を通じて、  
社会の変化を先取りする、創造性豊かなクリエイター、イノベーターを育成します。



## あらゆる分野をつなぎ、社会に貢献する「映像」

「映像」という言葉に、みなさんは何を思い浮かべますか。  
ワクワクするような冒険が繰り広げられる映画やCGアニメーション、手に汗握るアクションゲームが  
身近な映像であると考える人もいるかもしれません。

映像学部では、それだけではなく、映像を用いた社会課題の解決と  
その基盤となる多様な文化的価値の創造を目指しています。

「映画芸術」「ゲーム・エンターテインメント」「クリエイティブ・テクノロジー」  
「映像マネジメント」「社会映像」

といった5つの学びのゾーンを軸に、多様な映像分野を開拓し、  
映像を通じて広く人類と社会に貢献していく人間を育成していきます。



公式 HP

## 立命館大学 映像学部

映像学部生の活躍や作品などを随時更新！



公式 X

立命館大学 |

<お問い合わせ> TEL 075-465-8351  
入学センター 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

▶▶▶ 詳しくはWebで

立命館大学入試情報サイト

検索

# School Life シリーズ

## 著作権について

※School Lifeシリーズに収録されている曲は先生、生徒の皆さんが学校活動で使用される場合（放送コンテンツを含む）に限り「著作権」及び「著作権隣接権」の使用許諾申請処理・手続きが不要となります。  
 ※営利目的での使用をはじめ、学校活動とは関係ない先生、生徒個人での使用は許可されておりません。  
 ※ご購入された学校のみでの使用許諾となりますので、転勤及び姉妹校等での貸し借りも許可されておりません。

## お支払方法

- ①商品は御注文を受け次第、即日発送します。  
 商品到着後1週間以内に同封の振込用紙にて郵便局か銀行でお振り込み下さい。
- ②送料は全国一律700円(税抜)が別途かかります。
- ③お振り込み手数料につきましては、お客様のご負担とさせていただきますのであらかじめ御了承下さい。

## ご注文方法

下記の注文書にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

## ご注文・お問合せ



〒133-0057 東京都江戸川区西小岩3-21-26 大平ビル  
 TEL: 03-3538-6670 FAX: 03-3538-6675  
 URL: <http://www.arky.co.jp> E-mail: [arkyinc@arky.co.jp](mailto:arkyinc@arky.co.jp)

## School Life シリーズ 注文書(FAX送信用紙) FAX送信先:03-3538-6675

学校名	
学校住所	〒
TEL	FAX
Email	
所属部名	顧問名
ご注文者	( 先生 ・ 生徒 )

セット数※お間違いのないようご注意願います。

シリーズ	商品名	収録内容	価格(税抜)	セット数
クラシック集	<input type="checkbox"/> School Life Classic Vol.2 生楽器録音によるクラシック名曲集	CD2枚組(全30曲)	¥7,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Classic Vol.1 生楽器録音によるクラシック名曲集	CD2枚組(全30曲)	¥7,000-	<input type="checkbox"/> セット
BGM集	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.9 インスピレーションを刺激する、ドラマ向けBGM集	CD2枚組(全40曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.8 都会的な雰囲気のあるドラマ・ドキュメント向けBGM集	CD2枚組(全40曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.7 プロデューサーズバージョン(ショートトラック集)	CD2枚組(全80曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.6 プロフェッショナルバージョン	CD2枚組(全40曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.5 ドラマ・ニュース等、番組向けインパクト系BGM集	CD2枚組(全40曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music Vol.4 ナレーション等に合うリスニング系BGM集	CD2枚組(全40曲)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music 2002年度版 アメリカンミュージック系BGM集	CD4枚組(全110曲)	¥10,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music 2001年度版 フュージョン・ポップ系BGM集	CD4枚組(全110曲)	¥10,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Music 2000年度版 何にでも合わせやすい入門編BGM集	CD4枚組(全110曲)	¥10,000-	<input type="checkbox"/> セット
効果音集	<input type="checkbox"/> School Life Sound Effect Vol.5 生録音シリーズ(環境音系効果音集)	CD2枚組(全150音)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Sound Effect Vol.4 生録音シリーズ(ギャグ音系効果音集)	CD2枚組(全154音)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Sound Effect Vol.3 生録音シリーズ(ギャグ音系効果音集)	CD2枚組(全187音)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Sound Effect Vol.2 学生生活に関連する効果音集	CD2枚組(全186音)	¥6,000-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Sound Effect Vol.1 海外音源を含むバリエーション豊富な効果音集	CD4枚組(全320音)	¥12,000-	<input type="checkbox"/> セット
ブリッジ集	<input type="checkbox"/> School Life Bridge Vol.2 パラエティ豊かなアイキャッチ系サウンド集	CD1枚組(全173音)	¥3,500-	<input type="checkbox"/> セット
	<input type="checkbox"/> School Life Bridge Vol.1 シーン変わり、擬音等のアイキャッチ系サウンド集	CD1枚組(全80音)	¥3,500-	<input type="checkbox"/> セット
SFX集	<input type="checkbox"/> School Life SFX Vol.1 SF・ファンタジー等に使える擬音系効果音集	CD1枚組(全195音)	¥3,500-	<input type="checkbox"/> セット

★上記商品の金額及び送料¥700-には別途消費税が加算されます。

◆製品未収録の効果音が無料でダウンロードできるコーナーも大好評!!◆

School Life Free Soundeffect ▶▶ [まずは、http://www.arky.co.jpにアクセス!](http://www.arky.co.jp) → [Schoollife Web](#) → [Free Soundeffect](#)

学校法人片柳学園



大学でも専門学校でも  
片柳学園なら  
多彩な進路が選べる！

蒲田キャンパス

八王子キャンパス



蒲田キャンパス

デザイン学部

- 視覚デザインコース\* ●情報デザインコース\*
- 工業デザインコース\* ●空間デザインコース\*

医療保健学部

- リハビリテーション学科  
[言語聴覚学専攻/理学療法学専攻/作業療法学専攻]
- 看護学科 ●臨床工学科 ●臨床検査学科

大学院

- デザイン研究科 ●医療技術学研究科

八王子キャンパス

工学部

- 機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科

コンピュータサイエンス学部

- 先進情報専攻[情報基盤コース\*/人間情報コース\*/人工知能コース\*]
- 社会情報専攻\*

メディア学部

応用生物学部

- 生命医薬コース\* ●地球環境コース\*
- 食品コース\* ●化粧品コース\*

大学院

- 工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科

\*2024年4月新設

# 東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-925  
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-903  
<https://www.teu.ac.jp/>



## 日本工学院で学ぶ

〈専門士〉〈高度専門士〉取得

日本工学院から  
東京工科大学へ編入  
〈専門士〉+〈学士〉取得

## 東京工科大学で学ぶ

〈学士〉取得



クリエイターズカレッジ

- 放送芸術科\*
- 声優・演劇科\*
- 演劇スタッフ科●\*
- マンガ・アニメーション科四年制◆\*\*
- マンガ・アニメーション科\*

デザインカレッジ

- ゲームクリエイター科四年制◆\*\*
- ゲームクリエイター科\*
- CG映像科(3年制)\*
- デザイン科(3年制)\*
- クラフトデザイン/イラストレーション/  
インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻

ミュージックカレッジ

- ミュージックアーティスト科\*
- プレイヤー/ヴォーカリスト/  
サウンドクリエイターコース
- コンサート・イベント科\*
- 音響芸術科\*
- ダンスパフォーマンス科●\*

ITカレッジ

- ITスペシャリスト科(4年制)◆\*\*
- AIシステム科\*
- 情報処理科\*
- ネットワークセキュリティ科\*
- 情報ビジネス科\*
- 秘書・事務/eビジネス/ホテル・観光●コース

テクノロジーカレッジ

- ロボット科○\*
- 電子・電気科\*
- 一級自動車整備科(4年制)○◆\*\*
- 自動車整備科○\*
- 応用生物学科○\*
- 建築学科(4年制)◆\*\*
- 建築設計科\*
- 土木・造園科○\*
- 機械設計科\*

スポーツ・医療カレッジ

- スポーツトレーナー科三年制○\*
- スポーツトレーナー科○\*
- スポーツ健康学科三年制○\*
- スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
サッカー/テニスコース
- スポーツ健康学科○\*
- スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
サッカー/テニスコース
- 鍼灸科(3年制)○\*
- 柔道整復科(3年制)○\*
- 医療事務科○\*

\*職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり \*\*高度専門士付与学科  
 ●日本工学院専門学校のみ設置 ○日本工学院八王子専門学校のみ設置

# 日本工学院

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

<https://www.neec.ac.jp/>

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700

姉妹校：日本工学院北海道専門学校





今年もたくさんのご参加をお待ちしています。  
ここではNHKから生徒のみなさんや先生方へおススメの情報をご案内します。

めで.co

## 公式ホームページ NコンWEB 放送部活動のお役立ち情報をお届け!

コンテストの概要だけでなく、全国高校放送コンテスト決勝出場作品やNコン卒業生からのエピソード紹介など、放送部の活動に役立つ情報を随時発信しています!ぜひ、ご活用ください。

[www.nhk.or.jp/event/n-con/](http://www.nhk.or.jp/event/n-con/)




自由な編集。自由な組み合わせ。

**NHK C** クリエイティブ ライブラリー

「NHKクリエイティブ・ライブラリー」は、NHKの豊富な映像素材を、みなさんの表現・創作活動に利用していただくため、インターネットを通じて無償で提供するサービスです。  
NHKアーカイブスの番組や番組素材から切り出した、およそ7000本の映像や音声をダウンロードしてぜひ作品づくりにお役立てください。  
(※利用のルールがあります)



<https://www.nhk.or.jp/archives/creative/>

いつでも どこでも、NHKの番組を。

# NHK+

総合・Eテレの番組を  
スマホやタブレット・  
パソコン・テレビ(一部)で  
放送から1週間<sup>#2</sup> 何度でも  
お楽しみいただけます!

メールアドレスとパスワードを入力するだけで  
すぐに見逃し配信をご覧ください

#1 テレビでは放送し番組配信のみ  
#2 地域の番組の一部は延長2週間配信

メール登録はこちらから

<https://plus.nhk.jp/info/>




君の声が聴きたい  
子どもや若者の幸せを考える

あなたの“願い”を  
聴かせてください

<https://nhk.jp/koe-kodomo>

2022年から始まったNHK「君の声が聴きたいプロジェクト」。

子どもや若い世代がより幸せを感じるために社会や大人に何ができるのか。

子どもや若い世代の声を聴いて、それを伝え、考えていきます。

**NHK for School**  
[www.nhk.or.jp/school/](http://www.nhk.or.jp/school/)



**NHK 高校講座**  
[www.nhk.or.jp/kokokoza/](http://www.nhk.or.jp/kokokoza/)



**NHK**

あなたの声と受信料で公共放送

NHKの番組やコンテンツはみなさまからの受信料で支えられています。